

年度 2009 学期 前・後期	曜日・校時 前木2/前木3/前木4/後木2/後木3/後木4	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	スポーツ演習(球技スポーツ) Sport and Exercise		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)木 2:M13 及びK25・26、木 3:M14 及びTc~f、木 4:M15 及びTg~j	科目分類 健康・スポーツ科学科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:藤木賢二 /Eメールアドレス:ken.fujiki@nifty.com /研究室:総合体育館 2F(体育教官室) /TEL: /オフィスアワー:木曜日 12:00~12:45、16:00~16:30			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルールを理解し、技術を習得することで、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法: 球技スポーツでは、ソフトボール、サッカー、テニスの3種目を行う。 授業到達目標: ソフトボール、サッカー、テニスの運動効果およびルールを理解する。 ソフトボールにおいては、スローイング、キャッチング、バッティングができる。 テニスにおいては、グランドストローク、ボレー、サーブができる。 サッカーにおいては、ドリブル、パス、シュートができる。 以上より、安全にゲームを行い、スポーツに参加する意識を養う。			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) ソフトボール、サッカー、テニスをゲーム中心に行う。 第1回 オリエンテーション(種目の決定、授業の概要説明など) 第2回 ソフトボール 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習 第3回 ゲーム 第4回 ゲーム 第5回 ゲーム 第6回 テニス 運動効果の理解、グループ分け、グランドストローク(フォアハンド、バックハンド) 第7回 グランドストローク、ボレー、サーブ 第8回 ゲーム(ダブルス) 第9回 ゲーム(ダブルス、シングルス) 第10回 サッカー 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習、簡易ゲーム 第11回 ゲーム 第12回 ゲーム 第13回 ゲーム 第14回 ゲーム 第15回 授業の総括(筆記試験含む)			
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキストは使用しない。必要に応じて関係する資料やビデオを使用する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 40% チームへの貢献 10% 技術上達 10% 試験(運動効果の理解 30%、ルール等の理解 10%)		
受講要件(履修条件)	全期間の欠席が3回以上の場合には原則的に失格となる。		
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			